



※定住外国人子ども奨学金ニュースレターWeb版は個人情報などの都合上、内容を一部変更しています。

すたんどばいみーとの交流会を開催！

8月24日(土)に神奈川県大和市で当事者団体として活動されている団体「すたんどばいみー」と奨学生との交流会をしました。すたんどばいみーは、高校生以上の外国にルーツを持つ青年たちが、中学生以下の世代を支える活動を実施している団体です。

10時に集合し、まずは奨学生に事前に提出してもらったニュースレターに掲載する作文を修正してもらいました。日本語指導の専門家でもある当奨学金の住田委員による指導ポイントを元に、すたんどばいみーの方にもご協力いただき、奨学生に書き直しをしてもらいました。住田委員からの指導ポイントとしては「テ形だけを使うのではなく、連用形接続も使えるように指導する」「細かい間違いがいくつかあるので、誤用箇所を1つ1つ丁寧に訂正する。できるだけ早い段階で意識的に修正しないと、間違った知識が固まって(化石化)してしまう」などがありました。そして、作文と並行して、実行委員による面接も行いました。

その後、みんなで昼食の準備です。簡単で、夏に食べやすいものということで、そうめんを作りました。差し入れの桃と梨も頂き、おなかいっぱいになったところで、自己紹介タイム。中尾委員によるみんなの名前を覚えられるようなワークショップの後、すたんどばいみースタッフの宮脇アンディさん、フィン ティさんによる活動紹介がありました。奨学生全員に質問してもらい、年少のきょうだいが母語ができず母親とあまり話ができない奨学生からは「母語ができないことで、将来どんなことが問題になるのか」という質問があったり、「母語教室では具体的にどんなことをしているのですか?」「活動の中で、最も達成感のあったことは?」「保護者の関わりがあるのか」という質問があったりしました。同じようにベトナム、中国などルーツを持つ高校生・大学生の活動に大変興味を持って話を聞いていました。

来年は、奨学生とすたんどばいみーを訪問させていただき、活動に参加させていただく中で、ロールモデルとなり、後進育成に関わることを考える機会を設けられたらと思います。

すたんどばいみーのみなさまはじめ、ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

(事務局 S.Y.)

奨学生からのメッセージ

Kさん (6 期生)

『二学期も』

「大学入試、進路」

高校に入学してから、授業や行事のたびにこの言葉が付いてくるようになりました。先生や親が私のためを思って、言ってくれているのは分かっています。しかし、私としては、まだ入学したところという気持ちがあるため、自分の立場をあまり把握できていません。気になる大学はいくつかあるのですが、そこへ入るために、何をどう頑張れば良いのか、全く分からないというのが現状です。誰かに相談したいのですが、今のレベルでは夢のまた夢なので、恥ずかしくて口に出せないままです。

私が今頑張っていることは、三つあります。どれが一番か考えたのですが、全て一番だと思うので、三つとも書きます。それは、学習面と生活面と学校面です。

学習面では、高校の授業の速さや濃さにも一学期でなんとか慣れてきました。しかし、学校の予習と復習だけで、手一杯になっています。他に興味のあることを学んだり、調べたりすることは手付かずになっています。学校の勉強に余裕をもちたいと思っています。そのため、成績を上げるため、一時一時を大切にすることを頑張っています。

生活面。これは、私が今一番困っている事です。それは、「朝起きられない」事と「夜遅くまで、起きていられない」事です。原因に心当たりはないのですが、七時間寝ても、疲れがとれないという状態なのです。学習面にも関係あるのですが、睡眠時間が多く、起きていても、眠いことが多いので、結果的に時間が少なくなってしまうのです。体をしっかり休めるため、深く眠れる方法を頑張って探しています。

学校面については、私の通っている学校は、とても行事の多い学校です。特に驚いたのは、七月に入ると授業が一つもないと知った時です。期末テストや模試はありましたが、本当に授業はしませんでした。クラスメイトの人達は、行事の準備をし、部活をし、数名を除いた他の人は、塾に通い、その上遊びに行くという様に、全てに全力で取り組んでいます。このバランスを保ててこそ、充実した学校生活だと思うので、このバランスを上手くとれるように頑張っています。

一学期間頑張ったこの三つを二学期も頑張りたいので、夏休み中に弛まないように気を付けたいです。

Nさん (6 期生)

『夏休みに取り組みたいこと』

高校生活が始まって 4 ヶ月、あっという間に一年の一学期が終わりました。高校に入る前に人間関係や勉強などいろんな不安があったけれども、まわりの人々が支えてくださったので、乗り越えることができました。今は毎日充実した高校生活を送っています。

一年の一学期間を振りかえってみると、勉強面では、色々なところがまだまだ足りないのですが、夏休みの間で、できるだけ自分の苦手分野をなくせるように頑張りたいと思います。特に英語の長文や文法に力を入れたいと思います。なぜかと言うと、文系にしても理系にしても、英語を勉強することから逃げられないからです。それだけではなく、もっと長い目で考えると、今、情報社会が進んでいて、英語を話せることが当たり前ようになってきているので、英語はすごく大切だと思います。

学校で国数英の三教科だけの補習が入っています。前期の補習は 8 月 2 日までです。そこから三週間の休みがあって、そして、8 月 23 日から後期の補習があります。だから、本格的な夏休みは、三週間しかありません。なので、この三週間は普段はできないことをしたいです。まず読書です。今回、読書感想文の宿題が出ているのでこの三週間の間に気に行った本を見つけてしっかり読みたいです。

次に今までの復習です。高校に入ってから勉強はもちろん、中学校までの勉強でも理解をしっかりとしていくようにしたいです。この三週間は、勉強面でも生活面でも重要だと思うので、今書いた目標をもとに充実した三週間にしたいです。

私は、将来何になるかまだ決まっていなくても、今のところは外国語大学へ進学しようと思っています。外国語大学に進めば英語を含め、将来のために役立つ勉強ができると思うので進学したいと思いました。しかし、今の勉強のままでは外国語大学への進学は難しいと思うので更に努力したいです。

これからは今まで以上に努力し、よい高校生活を送り目指している大学へ進学したいです。

Yさん (6期生)

『今、これからの自分』

僕が今がんばっていることは勉強と部活です。部活と勉強を両立させるのは、簡単なことではありません。僕が通う学校では予習と復習をすることが一般的です。しかし、部活で疲れて帰ってきて、宿題と予習が終わらないことが度々あります。それでも、朝早くから電車の中で勉強して登校し、自主的に朝練に参加する同級生を見ていると力が湧いてきます。部活や勉強だけでなく何事にも全力で取り組む仲間と三年間高校生活を送れることに感謝しています。

この一学期が過ぎたのと同じくらい、この三年間は瞬間に過ぎ去ると思います。二学期には文理選択をし、二年後には大学に入るためにもがくような思いで生活を送っていきなりたいと思います。何事やるにしても「千里の道も一歩から」と言うように地道に毎日少しずつがんばっていくしかありません。

今の自分は未来の自分を思い描き、夢や目標をビジュアル化しないといけません。僕が今、興味を持っている職業は二つあります。

一つは公務員です。兵庫県内に滞在する外国人が安心して仕事し、一人の納税者としてこれからの高齢化社会に直面する日本を支える立場となるようサポートすることができたらと思います。ここでは、一人の永住外国人として自分の経験を活かした仕事ができると思います。

二つ目は電気メーカーなどの企業に就き、南米や東南アジアなどに行き、現地で製品を共同開発をすることです。そこでは、母語のスペイン語や、これからマスターしていく英語が役に立つと思います。

この二つの職業に共通して求められるのが一般人並みの日本語力と英語などの言語力やコミュニケーション能力です。特に自分の中で一番不安なのが日本語です。そのため、この夏から毎日、新聞を読もうと思います。記事の中に使われている表現に注目して、意味を調べて、語彙を増やしたいです。また、世間に目を向けたり、もっと字に触れることが公務員になるための大きな一歩となると思います。他にも英検にチャレンジしていきたいです。今学期では準二級に合格できたので、来年の今頃は二級に挑戦したいです。それまでに日本語同様に語彙を増やしたいです。コミュニケーション能力は部活での友人や先輩とよい関係を保つことで養っていきなりたいです。

このような小さな目標を毎日少しずつクリアすることによって大きな目標が達成できると思います。将来のことを考えた上で、今の自分に何ができるかを把握して生活していきます。

Oさん (5期生)

『気になるニュースについて』

最近、私はニュースを見ている。見ている中で一番気になったニュースは、「いじめ」です。私はニュースを見て「いじめのニュースは一生終わらないのか」といつも思います。いじめで人の命がなくなるということはとても悲しくひどいことだと思います。少しのいじめでも傷ついていやな思いを

する人やとても立ち直れないという人もたくさんいます。いじめる側の人は軽い気持ちでいじめても、された側は一生傷つくことが多いです。私も、小学生の時そのようなことがあり、今でも覚えています。一生忘れられないことです。今もときどき言われて傷ついていることもあります。だからニュースを見て少しだけどいじめられた側の気持ちは分かります。どれほど傷つくか。いじめを本当になくしたいです。

最近のニュースでは信じられないこともたくさんあります。私は一つのニュースに目がいききました。いじめのニュースではなく殺人事件です。広島で私と同じくらいの年でいじめではなく人を殺したことです。私はテレビを見てびっくりしました。その人は自分の友達を殺していました。いじめも絶対いけないことです。でも、人を殺すことはもっといけないことです。自分の友達を殺すなんて私は本当にびっくりしました。いじめからエスカレートして殺人になったと思われませんが、いじめと殺人を比べると、いじめはとめられる可能性があり、殺人は誰も予測できないのでとめられないと思います。この事件はいじめのうちにとめられたら人が死ななくてすむと思います。少しでも多くいじめがなくなっしてほしいです。私は人が傷ついたりしないように自分の言葉づかいを直していきたいと思っています。

いじめはなくすることはできないかもしれませんが、でも、周りの人が誰かをいじめようとしたり、弱い子ほどいろいろ暴言を言われやすいので私はそれを見たらとめたり、その子が傷つかないように勇気を出して味方になり、支えてあげるようにがんばります。

Sさん (5期生)

『学校生活について』

あっという間に、二年生の一学期も終わってしまいました。色々あって、結構忙しい一学期でした。これからは、この一学期について話をしたいと思います。

二年生になり、最初に起きた大きな変化はクラス替えです。中国では、クラス替えということはなくて、中学校のとき、三年間ずっと同じ仲間と一緒に過ごしました。楽しいこともあれば、悲しいこともあったからこそ皆の仲がよかったです。ですので、僕にとって、クラス替えは嫌なことです。嫌だと思いながら、実際にクラスが替わりました。でも、クラス替えのおかげで、全然話したこともなかった人と友達になって良かったと思います。

第一学期といえば、やはり文化祭です。何か役に立とうと思い、原材料の値段調査係をしました。うちのクラスはやきそばを作ります。値段調査する前に、原材料の名前、例えば、「ウィンナー」とか、全然知りませんでした。良かったのは、やさしい店員さんと出会ったことで、色々教えてもらいました。皆の役に立てて、日本語の勉強もできて、本当に最高でした。ちなみに、やきそばの売り上げは、700食以上ありました。

国際高校生にとって、一番楽しみなことである海外研修は、今年の十月にあります。これだけ聞くと、ただ楽しいイメージしかうかばないでしょうが、実はそのための準備はとて大変です。120人の生徒がプレゼン、小学校交流、紹介ブック、三つの班に分けてやります。僕はプレゼン班に所属しているので、プレゼンの内容について調べて、そして、プレゼンの流れを考えて、色々大変でした。でも一学期の努力がようやく形になり、良いプレゼンを仕上げました。

二年生になり、日本史や第二外国語のフランス語など新たな科目があって、覚える量はかなり増えました。海外研修や文化祭で、なかなか勉強する時間がなかったのも、この夏休みを良い機会だと思い、勉強頑張りたいと思います。

Nさん (5 期生)

『世界の音楽』

私の学校では、「世界の音楽」という選択科目があります。二年次に入ってその科目を取ることにしました。最初は音楽が好きということだけでその授業を取ったのではどんな授業かは全くしりませんでした。けれど今は、一番楽しみにしている授業の中の一つです。

音楽はとても古い時代からあるので、いつ始まったのかは誰にもわからないことです。人間はどうやって音楽を作るようになったのでしょうか。昔の人々は何のために音楽を作るようになったのでしょうか。なぜ人間は音楽を聴きたくなるのでしょうか。私は「音楽」というものはとても不思議だけどとても素敵なものだと思います。音楽がなかったら地球での毎日はとても暗くなると思いませんか。

私たちが住んでいる社会が進化することによって新しいものが生まれて来ますが、それと同時に何かを壊してしまうことがあります。音楽に関しても同じことは言えます。コンピュータが毎日の生活で必要となつてからは人間の生き方は非常に楽になりましたが、以前は必要とされていた物はだんだん必要ではなくなつてゴミとなつてしまいました。音楽の世界での「ゴミ」は楽器です。

楽器を弾ける人も減っています。それだけではなく音楽家たちの仕事もだんだんなくなっています。その理由は楽器を作るにはお金がたくさんかかります。コンピュータも同じでお金がかかるのですが、コンピュータのほうがきれいで一貫している音を出すことができますし、コンピュータで曲を作ったほうがお金がかからないです。

三十年後私たち人間はどんな音楽を聴いているのでしょうか。どんな楽器が残っているのでしょうか。人間にとって音楽はどれぐらい重要とされているのでしょうか。このまま音楽が絶滅してしまうかもしれません。だけどその時人間もいなくなるはずですよ。

人によって好きな音楽が違ふかもしれませんが、みんな音楽が好きです。どんな文化から生まれて来た音楽でも、何のための音楽でも人間には必要です。

人間と同時に生まれて来た音楽がなくなれば人間も同時にいなくなる。音楽は私たちの一部だからです。

Cさん (4 期生)

『いじめ問題』

いじめは大きな問題だと思います。最近、ニュースでいじめ問題のことをよく聞きます。そんなニュースを聞いたら、「なぜそんなひどいことをやっているかな」と思っています。ニュースでいじめ自殺のことも聞きました。あそこまでいじめられて、とても悲しいことです。ほとんどの人々は、いじめ問題をあまり気づかないと思います。たとえば、学校でいじめられている子が大人に言っても、大人は深刻な問題だと思えないと思います。まだ子どもだからそれは冗談だけと思っているかもしれません。でもそのいじめ問題は中学や高校までずっとつづいていました。これは、なぜいじめ自殺を行うかの一つの理由だと思います。いじめ問題は深刻なことですから、多くの人々に知ってもらえるようにこのテーマを選びました。

私は日本の学校でいじめられたことがありません。でも、いじめを目撃しました。そのときは、どうすればいいのかわかりませんでした。「いじめられっ子はかわいそう」と思っていたけど助けなかったです。もし、いじめられっ子のを助けたら、いじめっ子たちが、私のこともいじめると思ったから何もしませんでした。あのいじめられっ子はとてもかわいそうでした。友達がぜんぜんいなかったからいつも一人でした。

私も小学校のときにいじめられたことがありました。でも、友達がいつも私のそばにいましたから、私のことを守れました。友達がいなかったら、私は絶対自分のことを守れないと思います。そのときに友達がいて本当によかったです。

定時制高校に入る前に、日本語クラスの先生は私のことを心配していました。私がいじめられやすいと言われました。それを聞いて、私も心配していました。でも今まで、高校でいじめられたことがなくてよかったです。

いじめはとても悪いことです。何か優しくないことをする前か話す前に相手の気持ちを考えた方がいいと思っています。いじめられっ子たちの気持ちがわかります。だから、いじめのない学校や社会を一緒につくりましょう。

Mさん (4 期生)

『二つの道を一つに』

高校 3 年になってもう 5 カ月経ちます。今まで私は語学と音楽を愛してきました。音楽は子どもの頃から好きで歌うのは夢です。もちろんこの道を進もうと思うととても大変です。でも、それでも音楽の道を進みたいと思いました。何が起きても絶対あきらめたくないです。

私は語学も大好きです。日本語、スペイン語やポルトガル語、そして英語が大好きです。なぜ語学が好きかというそれは日本に来た時に経験をした出来事が私の心を動かしたからです。知らない国、知らない言葉、知らない文化の中で不安がたくさんありましたが、その気持ちと同時にどんな文化だろう、どんな人達だろうという楽しみの方が大きかったからです。

時間が経つと、その国の言葉を理解できるようになり、そして初めて話せる時の嬉しさと幸せが私にとって最高の気持ちでした。違う世界に入った感じで今までと違った人達と話せる、笑える、遊べる、その幸せを味わえた事がきっかけでした。そこで私が感じたのは語学の力がないと他の人達と結ばれないと感じました。だから私は語学と音楽が大好きです。進路を決めないといけないう時が来て、私はどちらかを決めなければなりません。そう思いました。音楽の道を進むのか語学の道を進むのか、正直この事でストレスとプレッシャーを感じていました。両方とも私にとってとても大事です。色んな人に相談しました。友達や学校の先生や家族に相談しましたがほとんどみんなは「自分が本当に好きな事を選べばいい。」とか他の人達は語学にした方が将来にいいとか言ってくれました。私はすごく悩みましたが、ある先生、私に日本語を教えてくれる先生、その先生は私の事をよく知っています。その先生が私にある事を教えてくれました。語学と音楽両方ともあきらめる事のできない私にこう言いました。『両方とも好きだったら、あきらめなくても両方の道を進めばいいじゃん』と言いました。私はびっくりして聞きました。「両方をしてしまったら集中できなくなるし、時間がたりなくなるのではないかな」と聞きました。でも先生は「二つを同時にするのではなく順番を決めるの。」と言いました。先生が言っている事はまず大学に入って語学をしっかり学んで、そして次に音楽の大学に入るという事でした。本当に先生は、私の事を考え、そして応援してくれています。私は裏切りたくありません。前は、私は音楽と語学の道を別の道だと思っていましたが先生のおかげで両方あきらめずに、逆に二つの道を一つにする事ができて本当に良かったです。

大学は京都外大を目指しています。大学に行くためには他の試験もいるので今、漢字検定 3 級と英検 2 級を目指しています。する事がたくさんありますがたくさんの人達に応援されているので頑張っています。

Eさん (4 期生)

『私の好きな音楽』

今の若者はいつも電車に乗る時や街を歩いている時イヤホンをしています。私もその人たちの一人です。私は音楽が大好きです。

音楽のジャンルはとても多いです。例えば、ジャズ、ロック、ヒップホップ、クラシックなど。私は幅広く聞きますが、その中で私は K-pop と洋楽のバラード系が好きです。初めて K-pop とであつ

たのは中学生の時でした。最初は友達からのすすめです。友達は **K-pop** が大好きでいつも私に韓国の人気のグループ、曲、番組などを教えてくれます。最初はあんまり興味がなかったのですが、だんだん話を聞くと興味がわいて、インターネットで調べました。私は、**K-pop** の印象的なメロディーとダンスが好きになりました。その時私は、東方神起が大好きでした。韓国人なのに日本語が流暢で、ダンスが激しいのに歌がとても上手で、作詞作曲もします。一人一人の声はとても個性的なのにハマるととてもきれいで、聞くと癒されます。曲もずっと頭に残ります。私はいつもイライラする時や悲しい時に音楽を聴きます。その音楽から勇気ももらって、つらいときを乗り越えます。最近 **K-pop** は日本でもとても人気があり、たくさんの若いグループが増えています。今私は **BoA** が大好きです。4 年前のミュージックステーションでたまたま **BoA** の「永遠」という曲を聴きました。その曲のダンスはとても激しくてかっこいいのですが、歌詞の内容はとても女性的で、その上に **BoA** の独特の声とは絶妙のハーモニーです。**BoA** も韓国人ですが日本語も英語も流暢です。女性歌手で激しいダンスを踊るのは、**BoA** だけだと思います。**BoA** のバラードの曲もすごく人の心を癒します。

また、高校生になると、私は洋楽を聞き始めました。最初はラジオやテレビによく流れるジャスティンビーバーの「ベイビー」の曲から聞き始めました。歌詞の内容はよくわからないのですが聞いた後踊りたくなります。サビの歌詞は歌いやすく、すぐ覚えました。ジャスティンビーバー以外にアヴリルやシャリースやワン・ダイレクションが好きです。いつか英語の歌詞の内容が分かるように歌いたいです。

これからも大好きな音楽を聴き、好きな歌手を応援しながら、音楽から勇気ももらって困難を乗り越えたいです。

～～第5回 KOBE カンタービレ・コンサート 開催決定～～

日 時 : 2013 年 11 月 4 日(月・祝) 13:30 開場 14:00 開演
 場 所 : 神戸市立 新長田勤労市民センター別館 ピフレホール
 チケット代 : 前売り 2000 円、当日 2500 円(中学生以下無料)
 出 演 者 : 青山 秀直(1stクラリネット)、蔭山 晶子(2ndクラリネット)、
 西川 香代(3rdクラリネット)、青山 映道(バスクラリネット)



今回の奏者は、第4回で、素晴らしい演奏を聞かせて下さった青山秀直さんを 1st クラリネットとしてお迎えしたクラリネット四重奏です。ふるってご参加いただけましたら幸いです。

今年度も引き続き、募金箱設置にご協力いただきありがとうございます！

(順不同、2013 年 9 月 1 日現在)

百済、FMわいわい、(財)神戸国際協力交流センター、神戸映画資料館、ほっとすてーしょん、神戸合同法律事務所、神戸市教職員組合、神戸市教育会館、兵庫県学校厚生会神戸支部、広東料理悠苑、甲南女子大学多文化コミュニケーション学科、(株)浜屋、南あわじ市国際交流協会、高砂市国際交流協会、タンカフェ、ひめじ発世界、神戸 YWCA、ベトナム料理メコン、インド料理チャルテ・チャルテ、南インドカフェダイニング チャルテチャルテ、マルヨネ 4 番館、チャオサイゴン、龍谷大学ボランティアセンター、ブラジリアーノ、民団西宮支部、焼き肉みなみ、韓国商工会議所、NPO 法人フォロ、佐用町商工会議所青年部、元祖とんかつカレーカツヤ

今後引き続き、募金箱設置をお願いいただける団体・店舗を募集しております！

皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

～今後の予定～

2013 年 11 月 4 日(月・祝) 第 5 回 KOBE カンタービレ・コンサート

2013 年 12 月 20 日(金) 小林聖心クリスマスバザー出店

奨学資金の寄付を受付中です

ご寄付いただける方は、以下のゆうちょ銀行の口座までお願いいたします。

口座名義：定住外国人子ども奨学金実行委員会

口座番号：

(ゆうちょからの振込の場合) 14370 87454771

(他行からの振込の場合) 店番 四三八 普通預金 8745477

問い合わせ先 定住外国人子ども奨学金実行委員会

〒653-0038 神戸市長田区若松町 4-4-10 アスタクエスタ北棟 502

NPO 法人 神戸定住外国人支援センター(KFC) 気付

TEL078-612-2402 FAX078-612-3052

E-mail kfc@social-b.net Web <http://www.social-b.net/kfc/scholarship/>

